

平成30年度 大阪市立墨江丘中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

3 「大阪市中学生3年生統一テスト」の調査の目的

- (1) テスト結果を個々の生徒の評定（内申点）に活用し、平成30年度大阪府公立高等学校入学者選抜における調査書に記載する評定の公平性、信頼性を確保する。
- (2) 学校が生徒一人ひとりの学力を的確に把握し、学習指導の改善及び進路指導に活用する。

4 「大阪市英語力調査（英検IBA）」の調査の目的

- (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るために、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟課程等を把握・検証する。
- (2) 生徒が自らの英語力を的確に把握するとともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

5 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の調査の目的

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

**平成30年度 大阪市立墨江丘中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日	生徒数 (人)	平均正答率(%)					平均無解答率(%)				
		国語A	国語B	数学A	数学B	理科	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
3年	学校	174	75	59	69	47	64	3.0	4.3	2.2	13.6
	大阪市	—	74	58	63	44	63	3.6	4.1	3.7	14.9
4月17日	全国	—	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1	3.1	3.0	3.3	12.6
											5.0

2 中学生チャレンジテスト

学年 実施月日	生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
		国語	社会※	数学	理科※	英語	国語	社会※	数学	理科※	英語
3年	学校	168	49.1	49.2	59.8	56.2	54.5	19.8	4.7	10.8	7.3
	大阪市	—	51.6	48.1	56.7	56.5	56.2	16.9	4.6	10.5	7.2
9月4日	大阪府	—	53.0	49.5	58.9	58.0	58.5	16.0	4.5	10.3	7.4
2年	学校	164	56.0	56.3	58.9	55.7	44.8	5.9	4.5	7.5	5.0
	大阪市	—	55.9	51.9	60.7	55.7	49.8	6.9	6.3	9.1	5.9
1月10日	大阪府	—	57.0	52.6	61.8	56.6	51.3	7.1	6.4	9.2	6.3
1年	学校	127	60.4	—	69.1	—	66.9	4.2	—	4.3	—
	大阪市	—	54.8	—	60.2	—	61.1	6.9	—	6.5	—
1月10日	大阪府	—	56.2	—	61.3	—	62.0	6.7	—	6.7	—
											7.2

※ 2年生の社会はA問題を選択 2年生の理科はA問題を選択

※ 1年生については、国語・数学・英語のみ実施

3 大阪市中学校3年生統一テスト

学年 実施月日	生徒数 (人)	平均正答率(%)				
		国語	社会	数学	理科	英語
3年	学校	172	59.5	62.6	60.7	59.6
10月4日	大阪市	—	60.2	58.8	59.2	57.1
						60.7

4 大阪市英語力調査（英検IBA）

学年 実施月日	生徒数 (人)	語い 熟語 文法 (%)	読解 (%)	リスニング (%)	英検3級 LV以上 (%)	英検4級 LV以上 (%)	英検5級 LV以上 (%)
3年	学校	166	60.0	48.3	49.7	46.9	—
10月25日	大阪市	—	62.6	52.2	53.2	52.8	—
2年	学校	166	68.2	56.1	62.4	—	65.6
10月24日	大阪市	—	71.2	58.5	65.0	—	69.2
1年	学校	123	60.2	61.8	66.7	—	87.0
10月25日	大阪市	—	56.5	53.2	63.3	—	79.4

5 全国体力・運動能力、運動習慣等調査

学年	生徒数 (人)	握力	上体 起こし (数)	長座 体前屈 (cm)	反復 横とび (点)	20m シャトルラン	50m走	立ち 幅とび (cm)	ハンドボール 投げ (m)	体力 合計点 (点)
		(kg)			(回)	(秒)				
2年 男子	学校	26.96	30.13	39.92	54.82	91.33	7.87	197.28	21.83	44.33
	大阪市	29.05	27.74	41.48	52.14	85.66	8.06	192.58	20.29	41.72
	全国	28.84	27.36	43.44	52.24	86.06	7.99	195.62	20.55	42.32
2年 女子	学校	21.49	24.84	44.47	48.74	60.65	8.88	157.73	13.06	48.72
	大阪市	24.06	23.91	44.95	47.47	59.88	8.89	168.48	12.96	50.14
	全国	23.87	23.87	46.22	47.37	59.87	8.78	170.26	12.98	50.61

平成30年度 大阪市立墨江丘中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

「中学生1,2年チャレンジテスト」

【1年生の成果と課題】国語、数学、英語ともに、大阪府平均を上回った。「国語」と「数学」の授業内容はよくわかると感じている生徒が多い。

【国語】「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のすべての領域で大阪府平均値を上回った。

【数学】「数と式」「図形」「関数」3領域すべてにおいて、大阪府平均値を上回った。

【英語】「聞くこと」「読むこと」「書くこと」3領域すべてにおいて、大阪府平均値を上回る。しかし、「英語の授業の内容がよくわかる」と感じている生徒が、大阪府平均値から16ポイント低いので、生徒たちの間で、英語学習に対する苦手意識が出てきている感がある。

【2年生の成果と課題】社会を除いて、大阪府平均を下回った。特に、「英語」については、6ポイント下回った。「国語」「社会」「理科」の授業内容はよくわかると感じている生徒が多い。各教科において「選択式」「記述式」問題に課題がある。

【国語】「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」のすべての領域で課題がある。

【社会】「地理的分野」「歴史的分野」とともに、大阪府平均を上回った。

【数学】「数と式」「図形」「関数」3領域すべてで課題がある。

【理科】「化学的分野」はやや大阪府平均値を上回ったが、「物理的領域」「生物的領域」はやや課題がある。

【英語】「聞くこと」「読むこと」「書くこと」3領域すべてにおいて課題が残る。

【今後に向けて】

・全教職員が始業前に教室に入り、チャイムと同時に授業を開始し、授業規律の徹底を図り、日常的にルールを守ることなど規範意識を高めることで、より学びやすい環境を設計することが大切である。

・生活習慣と正答率の関係から、食事についての意識向上と睡眠時間に重点を置き、生徒集団・家庭・地域へのより一層の啓発を行う。

・授業内容の定着のため、「反復練習」的活動に、今以上、時間を割く必要がある。

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」

【成果と課題】

男子については、8項目5中項目(上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、立ち幅とび、ハンドボール投げ)で全国及び大阪市平均を、それぞれ上回っている。体力合計点でも全国及び大阪市の平均を上回っている。

また、女子については、8項目中5項目(上体起こし、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、ハンドボール投げ)で全国平均を、それぞれ上回っている。しかしながら、女子は、体力合計点で全国及び大阪市の平均を下回っている。男子は4年続けて好成績が見られる。女子は今年度合計点では良い結果とはならなかったが、平均を上回る項目が昨年度より1つ増えた。過去4年間の体力合計点の比較を以下に示す。

・男子(大阪市との差 +2.68→ +3.08→ +1.90 →+2.61 全国との差 +1.41→ +2.20→ +0.79→+2.01)

・女子(大阪市との差 +2.24→ +2.65→ +1.28→-1.42 全国との差 +1.48→ +2.29→ +0.58→-1.89)

【今後に向けて】

握力についてはここ数年の課題となっている。男女共に全国・大阪市平均より下回っている種目であるため、授業時・運動部活動時に鉄棒を用いた運動などで、腕の筋肉増強とともに体重を支えることで握力のアップを目指し、測定器具の見直しにも取り組みたい。また、生涯に渡って体力の維持・向上、健康づくりについて興味関心を持てるように運動部活動の入部率の向上、地域的行事への参加、または社会的なスポーツイベントにも興味を持たせ指導に努めていきたい。